

立志

志をもち
自ら学び
ともに高め合い
逞しく生き抜く



令和5年6月19日(月)発行 校長 川崎 朗

地区中体連まで残り2週間、できることを精一杯!

前期中間考査も終わり、いよいよ部活動に所属している生徒は目標とする大会に向けての総仕上げの時期になりました。今後行われる大会は以下のとおりです。どの部も、一日一日の練習を大切に、自分たちの目標に向かって全力を尽くしています。

佐賀県通信陸上競技大会 6月24日(土)・25日(日)
杵島武雄地区中体連総合体育大会 7月2日(土)・3日(日)
佐賀県中学校総合体育大会新体操競技 7月16日(日)
佐賀県中学校総合体育大会陸上競技 7月15日(土)・16日(日)
佐賀県中学校総合体育大会水泳競技 7月15日(土)・16日(日)
佐賀県吹奏楽コンクール 7月24日(月)
佐賀県中学校総合体育大会 7月22日(土)～26日(水)

多くの3年生にとって、この夏の大会が最後の大会になります。さらに、今年は有明中学校として出場する最後の大会、有中62年の歴史のフィナーレを飾る大会となります。

これまで部活動の中で身につけた「技術」「体力」「精神力」のすべてを発揮して、最後の一瞬まで全力で駆け抜け、見ている人、応援してくれている人に「さすが有中生」と感じてもらえるような大会にしてくれることを心から期待しています。

そのためにも、この残り2週間をどのように過ごすのが大切です。今更、慌てても仕方ありません。急に必殺技が身につくこともありません。すべてはこれまで積み重ねてきたものの成果です。ですから、これまで日々の練習の中で身につけたもの、先生やコーチから教えてもらったこと、一緒に活動してきた同級生や先輩・後輩と一緒に頑張ったかけがえのない時間など、一人一人が心の中に持っているものを大切に、自分たちができることを最後まで精一杯やり通してほしいと思っています。

「もう2週間しかない」とネガティブに考えるのではなく「まだ2週間もある」とポジティブに考えてみましょう。平日は2時間、休日は3時間の練習と考えると20時間以上の練習ができます。大切なことはどれだけの時間を練習に費やしたかではなく、練習時間をどれだけ大切にしたら、どれだけ集中して練習したかだと思っています。

私も長年、部活動指導に関わってきましたが、その頃から「負けていい試合は一つもない」「部活動では最後まで目指してやらなければ意味がない」などと言ってきました。これだけ聞くと勝利至上主義ではないかと思われる人もいるかもしれませんが、決してそうではありません。目標をもって日々の活動を頑張ることが大切だと思っています。勝負は一瞬です。でも、そこにたどり着くまでには3年間の中でたくさんの時間をかけてきました。そして、いよいよ残り2週間。まだできることはたくさんあります。最後の最後まで自分たちにできることをひたすらに精一杯頑張ってください。そうすれば、きっと自分の中にかけがえのない宝物を見つけることができるはずです。がんばれ有中生。

テストは終わった後を大切にしましょう！

6月15日(木)・16日(金)の2日間で前期中間考査を実施しましたが、そろそろ各教科から結果が返ってきていると思います。

テストで一番気になることは、多分、テストの結果＝点数や順位だと思います。テストを受けるときに、「結果なんかどうでもいい」と思っている人はいないと思います。みんながそれぞれ「いい点数をとりたい」

「学年で○番以内には入りたい」と思いながら受けているのではないかと思います。もちろん結果を出すことも価値があることですが、それ以上に大切なことは、テストに向かって自分自身がどのように取り組んだのかということです。

テストの結果だけを大切に考えると、「今回は結果がよかったから○・悪かったから×」で終わってしまいます。でも、これでは変わりません。大切なことは自分のテストに向けての取り組みを振り返ることです。例えば、以下の五つのポイントで考えましょう。

- ①日頃の授業をどれくらい大切にしていたか。
- ②授業で分からないところをそのままにしていなかったか。
- ③どれくらい前からテスト勉強を始めたか。
- ④各教科にどれくらいの時間をかけて勉強したか。
- ⑤どのような方法でテスト勉強をしたか。

私はまずは①②が大切だと思っています。学力をつける基本は、毎時間の授業を大切にすること、授業で分からなかったことをそのままにせず先生や友だちに聞いて分かるようになることです。分からないことは問題ではありません。分からないことをそのままにしておくことが問題なのです。これを土台としてテスト勉強で確認することが必要です。

③④ではどれだけ時間が必要か、⑤ではどのような方法で勉強をした方が効果的なのかを考えてみましょう。この振り返りとテスト結果を合わせて考えることでテスト結果がなぜそうなったのかということ客観的に理解できます。すると、次のテストに向けて取り組みを変えて、自分の学力を高めることにもつながります。

ですから、テストは終わった後が大切！次に向けてステップアップしましょう！

「褒める」と「認める」について考えさせられました！

テストが終わって結果が返ってくると本人はもちろん保護者の皆様もその結果が気になると思います。私も人の親ですので当然同じことを経験してきました。そこで、昨年度も紹介しましたが、読んで自分が反省させられた文でしたので、今年も紹介します。

ほとんどの親がホメるやり方が違うような気がします。なぜかというと、子どもをホメるときに、ただその「結果」だけをホメることがほとんどだからです。テストで100点をとったから、1位がとれたからすごいのではなく、そのために勉強したり努力したりした過程によって結果がでただけなのです。大事なことは、「ホメる」のではなく、「認める」ことなのです！「ホメる」→「結果をホメる」→「結果がでなくなる」→「ホメることが少なくなる」。こんな悪循環にならないためには、しっかり「子どもを認める」ことが大切です。つまり、「子どもの行動・がんばり」を素直に認めてあげればいいのです。具体的にいうと、テストで100点をとった時に「100点をとったこと」をホメるのではなく、「テスト勉強を頑張ったこと」を認めてあげるのです。誰かに認められたと認識している子どもは自分に自信を持てるようになります。そうすることによって「自己肯定感」がアップしていきます。「自己肯定感」とは、子どもが「自分が今のままで大丈夫」と思えることで、そうすると何事にも前向きにチャレンジすることができるのです。

もしたとえ失敗したって、そんな自分を認めてくれる人がいる、子どもはそう思うだけで失敗からも立ち直ることがしやすくなるのです。